



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和8年3月23日 第24号 文責 梶原 圭一



新たなステージで輝け 6年生!

本日、6年生120人が本校を巣立っていきました。学校教育目標の実現に向けて、みんなの笑顔があふれる学校を目指して、先頭に立って盛り上げてきてくれた子どもたちです。子どもたちの門出を祝うように、昨日までの雨も上がり、日差しに春の温かさを感じる朝でした。少し緊張しながらも、晴れやかな笑顔で登校してくる子どもたちの様子を見て、無事に当日を迎えることができたことへの安心感と、少し寂しい気持ちが湧いてきました。卒業式では、子どもたちの門出を祝うためにたくさんの地域の方々も出席していただき、有難く感じました。

120人の子どもたち一人一人に、卒業証書を手渡すことができました。子どもたちの堂々とした姿、そして『別れの言葉』と合唱は、中学校という新たなステージに向けての決意が伝わり、大変感動しました。本校を巣立つ子どもたちに向けて、本校の校訓「夢を持って歩み続ける」大切さを、アンパンマンの生みの親である やなせたかさんの言葉を使って伝えました。これから大人へと成長していく中で、困難にぶつかり、思い悩むこともあるでしょう。そのような時に、この中部小で身に付けた「自ら考える力」「思いを伝え合う力」「粘り強く取り組む力」を思い出し、夢実現に向けて突き進んでほしいと思います。卒業生の今後の活躍を、いつまでも応援しています。



児童会の活動に感謝!

児童会の子どもたちと共創しながら、学校教育目標に掲げている「笑顔あふれるみんなの学校」の実現を目指してきました。ランチミーティングや委員長会議を通して、どんなところに力を入れた活動を行えばよいかを議論し、それぞれの委員会で何ができるかを真剣に考える委員長たちの姿がありました。特に印象に残った取組として、「全校あいさつプロジェクト」がありました。校内のあいさつがもっと明るくなるために、各委員会の特徴を生かした活動を考え、実践してくれました。この取組の結果、子どもたち一人一人の「おはようございます」「こんにちは」の声が校内で響く学校に変わっていききました。最後の委員長会議での感想でも、この取組の成果が話題となりました。子どもたちにとっても、自信へとつながったようです。

本年度最後の児童集会では、委員長たちが本年度の取組の感想を述べるとともに、次の委員会への期待を話してくれました。それぞれの表情からは、達成感が感じられました。このバトンは、次の6年生へと引き継がれていくことでしょう。「自分たちの学校を自分たちで創る」という意識をもち、子どもたちと共に進む中部小学校を目指していきたいと思います。児童会の活動に、心から感謝しています。



<学校からのお願い>

現在、学校からの様々な情報については、安心メールを使ってお知らせしています。この安心メールで、以前本校に在籍していた子どもの保護者さんにも情報が届いていると連絡がありました。そこで、本年度末に登録をすべてリセットし、新年度に新たに登録をお願いしたいと考えております。このことについては、改めて文書にてお知らせしますが、安心メールの適正な運用のためにご協力いただきますようお願いいたします。